

令和 7 年 8 月 20 日

社会福祉法人賛育会 賛育会病院
院長 賀藤 均 様

内密出産およびベビーバスケットに関する貴院のご見解のお伺い

医療法人聖粒会 慈恵病院
理事長兼院長 蓮田健

残暑の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて当院には匿名性を求める妊産婦さんからのご相談を全国からいただきますが、この中には首都圏からのご依頼も少なくありません。特に匿名での出産を求める女性からのご相談につきましては、熊本からの距離の問題から対応に苦慮することもしばしばです。

そのような中、都内在住で内密出産を求める女性からの相談がございました。この方は仮名を佐藤さんとおっしゃいます。佐藤さんから最初にご相談いただきましたのは今年の 4 月でしたが、以来ショートメッセージや LINE を通じてやり取りを重ねています。

佐藤さんは貴院で内密出産をさせていただきたいと願ひ、貴院にご相談なされたのですが、貴院の職員様にそれを断られ、身元を明かした上での出産を余儀なくされました。出産日近くには、出産をご実家に知られてしまうことの恐れから不安が強まり、混乱状態にも陥りました。私や当院の職員は佐藤さんの保護を試みましたが叶わず、最終的には陣痛発来時に救急車で搬送され貴院で出産なさいました。

佐藤さんは貴院の働きかけにより内密出産を断念しなければならなかったことや、経済的に困窮していたにも関わらず出産費用の負担を求められたことに強い不満をお持ちです。私も今回のご対応には問題点が多々認められると考えております。

そこで佐藤さんと私とのやり取りの記録をご報告し、私の意見書を添えさせていただきました。これらをご高覧いただき、本質問状にご回答いただければ幸いです。ご多忙の中恐れ入りますが、何卒よろしく願いいたします。

ご回答につきましては 3 ヶ月後の令和 7 年 11 月 20 日にいただければ幸いです。場所をご指定いただければ、ご回答書をいただきにあがります。電子メール、あるいは当院にご郵送いただく形でも結構です。今年 3 月以来にも、当院には匿名性の保障を求める首都圏在住の妊婦さん方々からご相談をいただいています。この方々は出産費用を払えないため当院に相談なさっているのですが、その対応方針を決定する上でも貴院からのご回答は重要です。

なお内密出産およびベビーバスケットについて社会全体で考えていただくために、本質

問状および貴院からのご回答内容につきましては、報道機関を始め広く社会に公開させていただくことを前提としております。

記

(1) 貴院における内密出産の定義をご教示ください。

当院では、出産直後に産婦さんに確認し、なお匿名性を維持したいと表明した方を内密出産事例と定義しています。これは匿名性の保障と引き換えに病院内での出産を遂げたことに内密出産の存在意義があると考えからです。従って、当初は内密出産希望でも出産前に身元を明かした事例は内密出産と見なしません。逆に出産後に匿名性を撤回した事例は内密出産としてカウントします。

(2) 内密出産やベビーバスケットにおいて、匿名性を保障できない場合の判断基準をご教示ください。

当院では、自院の診療体制では医学的に母子の安全を確保しがたい場合にのみ、実母さんに名前を明かしていただき高次病院にご紹介しています。佐藤さんの事例ではパートナーが妊娠を知っているからとの理由で内密出産をお断りになったそうですが、これを含め、匿名ではお受けにならない状況をご教示ください。

(3) ベビーバスケットにおいて貴院の職員さんが預け入れ者を捕まえ、説得することを貴院のご方針として推奨なさっていますか。

ベビーバスケットの構造を拝見しますと、預け入れ者は貴院の職員さんと接触する確率が高いと思います。当院でも過去に一部の職員が病院の方針に反して預け入れ者を捕まえ、説得を試みた時期がありました。その反省から職員には同様の行為を禁じています。

先日「ベビーバスケットを見学した」とおっしゃる匿名の男性から電話連絡がありました。この方は次のように述べられました。

「賛育会病院に見学に行ったのですが、赤ちゃんポストというものをを見せてもらえなかったんですよ。どうもね、お母さんと話をしてから預けるようなんですよ。それで私は懸念しているんですよ」

もしこれが事実でしたら、これは赤ちゃんポストではなく、「対面式預け入れ」になり

ます。その典型例はアメリカのセーフヘイブン法に基づくシステムで、病院や消防署、警察署に親が出向き、赤ちゃんを匿名で託すことができます。しかし説得の手続きはありませんので、先の見学者の言葉通りでしたら、ベビーバスケットは対面式預け入れにも該当しません。

ちなみにアメリカでは、対面することを恐れて預け入れを躊躇する実親に配慮して赤ちゃんポストが開設された経緯があります。それほど自らの妊娠・出産の事実を知られたくない女性がいるのも現実です。

(4) 月曜日～金曜日の 9:00～16:00 以外は内密出産を申し込めないのでしょうか。

当院の経験では、内密出産希望の女性の中には何らかの症状がないと相談を切り出せない人がいらっしゃいます。相談しなければいけないと思いながら先延ばしにし、出血やお腹の張りなどの症状が出たタイミングで初めて相談の連絡をなさいます。そのタイミングが土曜、日曜日の場合には、月曜日まで様子を見るしかないのでしょうか。仮にこのような女性が貴院の代表電話や分娩室の電話に連絡をなさっても対応なさらないのでしょうか。

(5) 全く相談歴のない妊産婦の飛び込み出産に匿名性を保障なさいますか。

当院では陣痛が始まった産婦人科未受診の女性が、突然「秘密で出産したい」と病院に駆け込まれたことがありました。この方は無事に内密出産を終えられましたが、このような飛び込みの内密出産希望者が貴院の救急外来にお越しになった場合の対応方針をご教示ください。

(6) 内密出産の対応におきまして、児童相談所や保健師など孤立妊産婦が敬遠する行政関係者は、どの時点から関わりを持つことになりますか。

内密出産やベビーバスケットを求める女性は行政関係者を敬遠することが多いです。それは次のような理由によります。

- ・ 行政関係者に妊娠を知られてしまうと、家族に通報されるのではないかと心配。
- ・ 自分が子どもの頃、虐待されていたのに、児童相談所は助けてくれなかった。
- ・ 怒られたり説教をされたりするのではないかと。
- ・ 上の子どものことで児童相談所とは関係が悪いし、今回の妊娠を知られてしまうと上の子どもを返してくれなくなる。

このような事情から、当院では女性の意向を尊重し行政関係者との接触を最小限に抑えています。

(7) 佐藤さんへの対応につきまして、貴院が問題とお考えの点をご教示ください。

(8) 内密出産における費用の有料、無料、低額診療の判断基準と金額をご教示ください。また、この情報を貴院のホームページに掲載していただけますか。

内密出産における料金体系が不透明です。内密出産を求める女性たちを混乱させないように、料金体系や無料、低額診療適用の基準をホームページに掲載していただければ幸いです。下記の表は貴院のホームページに掲載されていたものです。このような形にいただければありがたいです。

分娩料金のご案内

2025年1月

項目	区分	料金 (円)	多胎追加料金 1名あたり料金
分娩料	分娩料	415,000	385,000
	無痛分娩料	130,000	
	無痛分娩導入料	20,000	
	時間外加算	15,000	なし
	休日・深夜加算	30,000	なし
	立ち会い分娩料	5,000	なし
入院料	入院料 (1日につき)	21,000	なし
	診療報酬改定による看護師等の 処遇改善料	600	なし
新生児介補料	新生児介補料 (1日につき)	8,000	8,000
出生証明書	出生証明書 (1通)	2,200	2,200

帝王切開・鉗子分娩等

項目	区分	料金 (円)	多胎追加料金 1名あたり料金
分娩介助料	分娩介助料	395,000	385,000

※上記のほか、健康保険診療分・差額室料代は、別途申し受けます。



賛育会病院 院長

以上